

経営比較分析表（令和6年度決算）

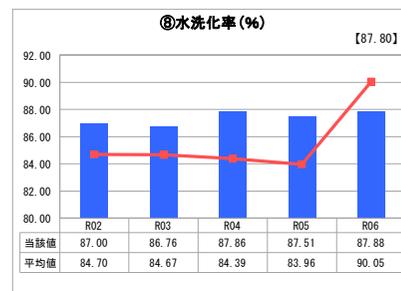
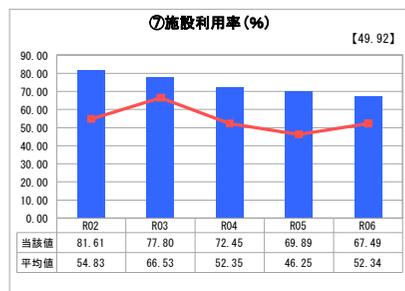
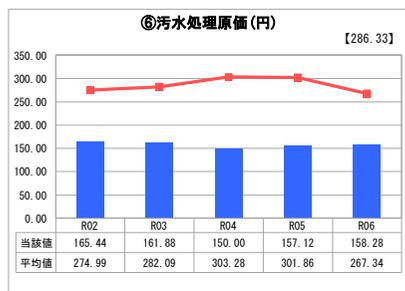
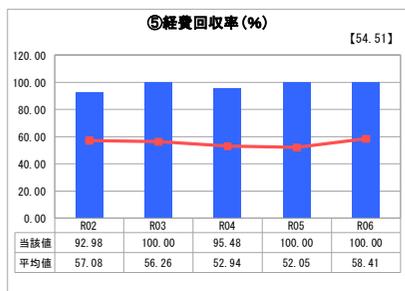
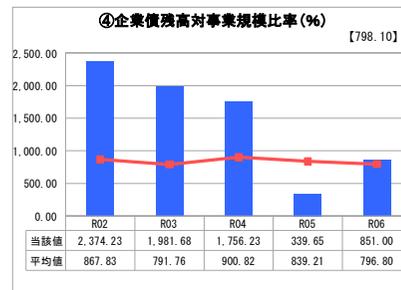
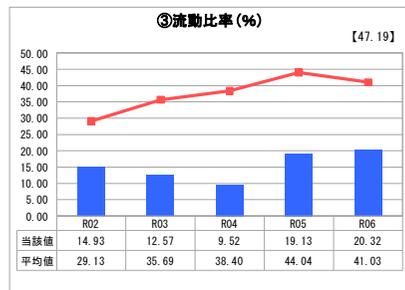
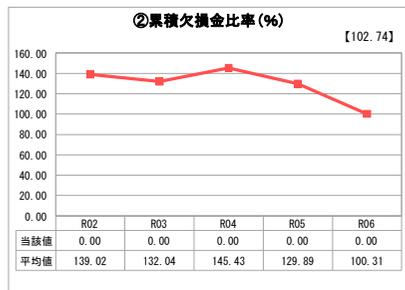
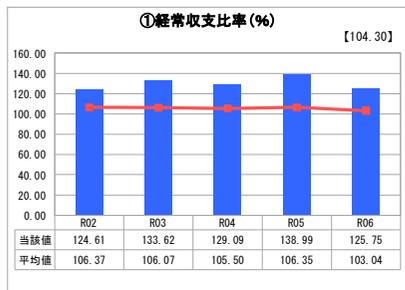
栃木県 鹿沼市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	77.21	3.07	80.02	4,070

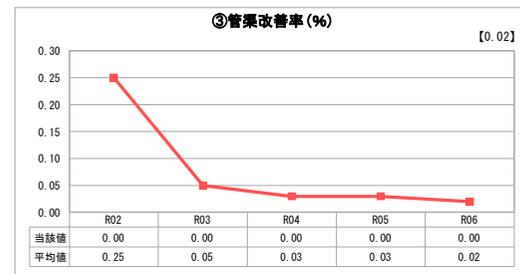
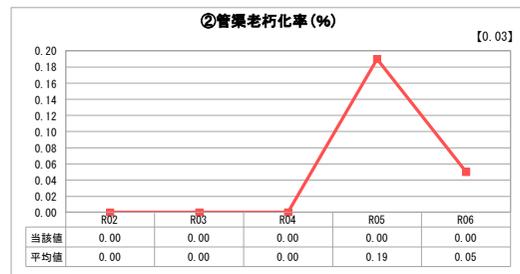
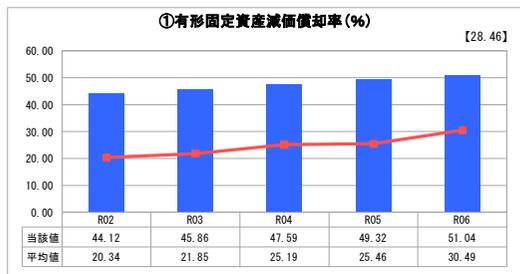
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
92,895	490.64	189.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,839	1.82	1,559.89

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性を示す経常収支比率は125.75%となり、健全経営の水準とされる100%を引き続き上回っている。また、使用料で回収すべき経費をどの程度使用料収入で賄えているかを示す経費回収率は100%であり、汚水処理費を使用料収入で賄えていることから、適正な使用料水準となっている。

企業価値高の規模を示す企業価値高対事業規模比率は851.00%となり、類似団体と比較し高い値となっているが、企業価値の償還がピークアウトを迎えていることから、減少していく見込みである。

※R05当該値は339.65%ではなく、1,180.69%が正しい。

2. 老朽化の状況について

平成6年度から20年度の間に4地区で供用を開始しており、現在のところ耐用年数を迎えた管渠はない。しかしながら、施設の修繕や更新等については、計画的に行っていく必要がある。

全体総括

経費回収率は100%であるが、今後も、人口減少等による使用料収入の減収、物価高騰等や人件費の増加に伴う維持管理費の増加が見込まれることから、費用の抑制等を行い、引き続き、経営戦略に基づき適切な事業運営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。